1.まずは落ち着く!!

クマも人が怖い!こちらと同じように、相手の出方をうかがっています。 まずは落ち着いて、クマの行動を観察しましょう。

2. じっとする、または 後ろに下がる

クマに背中を向けると、本能で追いかけてくることがあります。 そのため背中を見せず、できればゆっくりと後ろに下がりましょう。 ただし、山の中など足場が悪い場所では、無理に動かず そのままじっとしてください。

人が、クマに落ち着いて逃げられる状況をを作ってあげることで、 クマは自分から山に帰っていきます。

このページだけでは伝えきれない!

YouTube に日本一(世界一?) わかりやすい動画が ありますのでぜひご覧ください!



作成している日本クマネットワーク はクマの専門家の集まりです





【 NG行動 】



背中を見せて走る (追いかけられる)



石を投げるなど刺激する (反撃される)



子グマに近づく

(必ず近くに親がいます!)

【 もし、襲われそうになったら... 】

◎ 大きな声を出す!

○ 木の枝を振り回す!

【 逃げられない! と思ったら... 】

絶対に怖いけど、

生存率を上げられる 恰好 (防御姿勢)をとろう!



🕙 うつ伏せ 🍘 頭や首を守る

※ 会わないための工夫

まずは、会わないことが一番!基本的に、クマは人に気づいたら逃げてくれます。 音が鳴るものを身に着けたり、移動しながら大声を出す、歌を歌うなどでも効果があります!

」。けもの通信



2025 **10** 8月25日発

こんにちは!地域おこし協力隊の小川晴那(おがわはるな)です。

最近、クマの出没に関するニュースが増えてきましたね。東栄町では、9月19日に東薗目でクマ(らしき)動物の出没がありました。愛知県では年間20頭ほどの目撃情報が寄せられています。

私は大学1年生から修士2年までの6年間ツキノワグマ研究サークルに所属していました。後半4年間はクマにGPSを取り付けて実際にクマのいた場所の環境を調査していました。クマも人も大好きです。 豊かな自然の象徴であるクマと人が共存できるように、多くの人にクマの問題について考えてもらいたいなと思います。

ありがたいことに「けもの通信を手元に残したいんだけど..。」と言ってくれる方が出てきました!



← 『けもの通信』は 町のホームページに掲載しております。

また、経済課にも置いておりますので、必要な時はぜひお越し下さい。

☆ クマ○×クイズ!

あなたは クマのこと、どれだけ知ってる?

【問題1】

東栄町には2種類のクマが生息している。

【問題2】

クマの主食は 植物 である。

【問題3】

クマは うんちは だいたい 同じ形をしている。

【問題4】

クマの出没が増えているのは、人が山を開拓しているから!

【問題5】

クマに出会ったらまずは落ち着く ことが大事。

答えは内側と裏面を 読んでね!



日本に生息しているクマは 2種類 [【問題1]の答え ×]

日本には、 (じヒグマ と (じツキノワグマ の2種類のクマがいます。

東栄町に生息しているクマは「 ツキノワグマ 」です。 体長:約1.2m 体重:約60kg

- ・日本では本州以南に生息
- ・胸の白い三日月模様が特徴

【ヒグマ】

- ・日本では北海道のみに生息
- ・茶色の毛が特徴

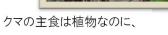


体長:約2m 体重:約200kg

草うんち







植物を消化できず、そのまま出てきます。 においも 臭くない んです!

食べてもすぐに うんち になっちゃうから、 クマはすぐにおなかがすきます…。 なので、必死にエサを探します!





ツキノワの模様はみんな違います。

ツキノワ模様のない子は「ミナグロ」と呼ばれ、 マタギの間では「山の神様の使い」として神聖に扱われてたんだって!





山の人間活動が減少

うんコレクション [【問題3】の答え×]

森林と集落との距離が接近動物が降りてきやすい _

山際の果樹の放置

クマが食べても気づかない 動物のエサ場

出没增加!

ລົ

ツキノワグマは何を食べている? [【問題2】の答え O]



どんぐり・クリ など

クマは

食べ物への執着が強く、 記憶力がとても優れています。

集落のおいしいエサを覚えると、毎年出てきます!

エサから見る!

出没注意時期



・エサが分散しているので、行動圏が広がる

- ・繁殖期で、オスが出会いを求めて動き回る
- ・好奇心旺盛な子どもが親離れする時期

秋

夏

- ・冬眠前でエネルギーをたくさん取る
- ・秋に1年に摂取するエネルギーの80%を摂取!
- ・どんぐり類の なり がいい年は、 山のエサで十分ですが、・なり が悪い年は エサを探し回って集落への出没が増えるかも...

個体数の増加

愛知県では クマは絶滅危惧種 I A類のため 個体数の増加を目指している クマの人馴れ

集落がクマの定期的な行動圏内 になると、人との距離が近くなり、 人馴れが進む

ここ3年ほど、クマの出没ニュースをよく見ます。

実は、1990年代前半から2020年代まで「共存政策」でクマは守られてきました。その結果、個体数の増え、分布も広がりました。さらに、エネルギー革命や林業の衰退などで、人が山に入ることが減り、これらが重なって出没が増えているのだと思います。

では、クマは怖いからいない方がいい動物なのでしょうか?

実は、クマはうんちを通じて山に種をまいています。また、クマが生きられる山は エサになる植物 がたくさんある「いい山」であるとされています。 豊かな自然の象徴であるクマと共存していきたいですね。